

第2回ワークショップの結果まとめ

地域ごとの優先度

● 最優先 ○ 優先 △ 可能性あり × 納得できない

第2回ワークショップの結果まとめを踏まえて、●、○、△、×を以下のルールで判定しました。

■ルール1：「納得できる」が0人→×

■ルール2：「納得できる」+「わからない」が過半数以上→○ ※ただし、地域ごとに「納得できる」+「わからない」-「納得できない」の差が大きい順に2つ（●含む）まで
第2回ワークショップにおいて、地域ごとに最優先と決めたもの→●

■ルール3：上記以外→△

地域	垂直統合		組み合わせ		水平統合	
			垂直+水平	3~4校	2校	1校
明野	△ ・施設分離型での運営		×	-	● ・須玉、武川など ・同じ生活圏、価値観でまとまりたい	-
須玉	×		×	○ ・人口の偏りがないように市内に配置	● ・東西：明野、高根など ・通学時間に配慮（30分以内）	△ ・通学時間に配慮（30分以内）
高根	施設分離型 ○ ・オンラインとオフラインでの交流	施設一体型 ×	-	-	● ・明野、須玉、大泉、武川など ・少人数学級の実現 ・通学時間に配慮（30分以内）	×
長坂	○ ・学校間連携（教育・部活等）の推進		-	-	○ ・通学時間に配慮が必要 ・子ども目線に立った統合を決めること	
大泉	● ・地域に根差した特色ある教育 ・異学年交流など人間関係構築の環境		-	-	○ ・部活動の活発化につなげること ・通学時間に配慮（地域から近いところがよい）	
小淵沢	○ ・施設一体型校舎の適切な配置 ・年齢差の大きい環境に配慮		△	△	○ ・通学時間に配慮が必要 ・建築年が新しい小淵沢中に来てくれる方が市全体としてよいのではないか	
白州	○ ・小規模校を活かし、他自治体にはない学校教育を展開		△ ・武川との統合（両地域の真ん中あたり） ・小学校の水平統合を含む	-	● ・東西：高根、長坂、小淵沢など ・南北：武川、明野、須玉など ・通学が不公平にならないよう配慮が必要 ・コミュニティスクール等での社会教育機会をつくり、地域関係の維持	
武川	△ ・PTAアンケートでは垂直が半数で最多 ・地域色を残した教育を維持		×	○ ・白州との統合で国道20号沿いに残せるのがベスト	● ・明野、須玉、高根、長坂、白州など ・各地域に小学校を残すこと ・通学時間に配慮が必要（近隣地区）	△ ・各地域に小学校を残すこと ・高い機能を持った新校舎の設置 ・地域とのつながりを最低限保てる配慮

地域： 明野（参加者11人）太字はワーク2の結果、細字はワーク1で出た主な意見を加筆したもの

	①垂直統合		②水平統合	
考え方	垂直統合 (施設分離型)	垂直+水平	2校	
条件等	<ul style="list-style-type: none"> 施設分離型で、現状そのままのかたちで運営する ICTを活用し、少人数を補う 部活は合同部活で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 明野だけの垂直では厳しいため、どこか他地区と組み合わせで一定の規模にする 	<ul style="list-style-type: none"> 2校程度がちょうどよい／市内に複数ある方がよい 統合先は須玉、ほかに武川などが考えられる ある程度同じ生活圏、価値観でまとまりたい（台上は生活圏が異なるのではないか） 	
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ICTだけで交流を促すのは難しいのではないか 人間関係の固定化が解決しないのではないか 子どもが少なくなることを考えると垂直は問題の先送りになるだけ 		<ul style="list-style-type: none"> 通学時間に配慮が必要 教員の質、部活動の質をきちんと担保できるか そのための財源・体制を確保することができるか 不登校問題への配慮ができるのか 地域性が薄れることへの懸念あり 	
優先順位	2位	—		1位
納得できる	1人	0人		11人
納得できない	7人	6人		0人
わからない	3人	5人		0人

	①垂直統合		②水平統合		
考え方	垂直統合	垂直+水平	3~4校	2校	1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> 行政と子育て世帯の負担が少なくなる 教員数を最大化し、きめ細かい教育を実現すること 	<ul style="list-style-type: none"> 明野と統合する 	<ul style="list-style-type: none"> 人口の偏りが無いように市内に学校を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的条件/通いやすさを考慮した配置で、できるだけ近いところに通える/選べるように (市を東西に分ける、明野と高根を軸にするなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的視野で理想を追求するなら市内1校
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> 年齢差がある子どもが1つの校舎で過ごすことが不安 対面でなくては教育・交流の効果は見込めない (ICTでは限界がある) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校まで統合すると地域に小学校がなくなる 	<p>これまでの議論で結論が出ており、この考え方は選択肢とはしない↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校に大小の差をつけるなど選ぶ意味をもたせる 通学時間に配慮が必要 (許容は30分程度か) 明野に吸収され地域性がなくならないように 環境の変化に児童が戸惑うのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 建てる費用が懸念
優先順位	—	—	2位	1位	3位
納得できる	0人	0人	3人	8人	2人
納得できない	8人	2人	3人	0人	5人
わからない	3人	9人	5人	3人	4人

地域： 高根（参加者16人）太字はワーク2の結果、細字はワーク1で出た主な意見を加筆したもの

	①垂直統合		②水平統合	
考え方	垂直統合 (施設分離型)	垂直統合 (施設一体型)	2校	1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学校を残すことを優先 ・小学校が2校あるという特徴を残す ・オンラインで各校をつなぐ ・部活や行事等ではオフラインでも交流を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した校舎を建て直す ・機能の複合化、パッケージスクールの推進 ・合同部活を早期実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人当たり生徒数を少なくし少人数学級を実現すること ・教員の能力向上や新たな教育制度づくりも併せて行う ・子ども同士の新たな人間関係づくりを促す／支援すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を2校とも残し、地域とのつながりを維持する ・水平でも子どもが地域とつながれる工夫はできるはず
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTでは限界がある ・小規模校の解決にならない（問題の先送り） ・地域間での学習環境に格差が生じてしまうのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面でどう対応するのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域が来てくれるのであれば水平を拒む理由はない ※明野・須玉はイメージしやすい ※東西／南北それぞれの分け方がある ・通学時間をできるだけ短くすること（許容は30分程度か） ・不登校問題が増加しないよう配慮できるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢がなくなってしまう ・過度な競争が生じるのでは
優先順位	2位	複数の中学校から選択できるようにする	一気に水平統合しコストを最小化する	1位
納得できる	4人	－	11人	0人
納得できない	0人	6人	4人	8人
わからない	12人	10人	1人	8人

	①垂直統合	②水平統合
考え方	垂直統合	2校・1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員・子どもも通学の負担を増やさない ・ハード面でのコストを最小限にする ・学校間の連携（教育・部活等）がうまくできること 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流関係や部活動の活性化につなげること ・通学時間が適切な範囲に収まるようにする ・子供たちの目線に立って統合する学校を決めること
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTで他地域の学校との授業や交流がうまくできるとは思えない ・子どもの年齢差があり過ぎる点への不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学負担が過度にならないよう配慮できるか（スクールバス等）／帰宅時刻が遅くと危険ではないか ・学校の選択肢が減ってしまう（不登校になったとき他の学校を選べなくなるなど）
優先順位	1位	1位
納得できる	4人	6人
納得できない	3人	2人
わからない	3人	2人

	①垂直統合	②水平統合
考え方	垂直統合	2校・1校
条件等	<p>9年間地域に根差した教育をすること／地域に学校を残し、特色ある教育/コミュニティスクールを実現すること</p> <p>異学年の交流を促すこと（運動会、委員会活動など）／濃密な人間関係を築ける環境にすること</p> <p>統合で財政が改善されること</p> <p>郷土愛を育む／移住の促進につなげる</p>	<p>人間関係の広がり、部活動の活発化につなげること</p> <p>統合先はこの地域から近い学校になること（通学時間が長くなり過ぎないことが重要）</p>
懸念点等	<p>ICTでは意味ある交流はできないのでは（対面が重要）</p> <p>コストは抑制できるのか／施設一体型で費用を抑制するべき</p> <p>年齢差に不安あり／中学生の素行が小学生に影響しないか</p> <p>子どもの数がさらに減ったら垂直では対応できないのでは</p>	<p>地域ならではの特徴が失われるのは問題</p> <p>地域に中学校がなくなれば移住者も減るのではないか</p> <p>大規模校になったとき生徒の心のケアが懸念（スクールカウンセラー等で十分対応できるのか）</p> <p>バス通学では子どもの運動不足が懸念される</p>
優先順位	1位	2位
納得できる	9人	3人
納得できない	1人	6人
わからない	3人	4人

※自主的に実施された泉小中学校PTAアンケート（回答25名）の結果では、現状維持28% 垂直24% 水平32% 水平+垂直16%となっている。

	①垂直統合		②水平統合	
考え方	垂直統合	垂直+水平	4校	2校・1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設一体化するときの新校舎を適切に／建物の共用部分を分散するなど年齢差の大きい環境に対応すること ・オンラインとオフラインを併用した連携 ・一人ひとりに手厚く対応すること 			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通学しやすい場所にあるならよい ・施設が老朽化している地域で建て直すよりは、小淵沢に来てくれる方が市全体としてよい
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間など小中の違いに対応できるのか ・教員免許等の制度上の問題が懸念 ・中学生の定期テスト勉強がしづらい ・異学年交流の効果に疑問 ・ICTでの交流促進には限界がある 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域をつなぐ幹線道路が少なく、通学負担大きくなることが懸念される ・大雪など災害時の対応は大丈夫か ・学校の選択肢がなくなる
優先順位	1位	3位	3位	1位
納得できる	8人	3人	3人	10人
納得できない	3人	1人	2人	3人
わからない	3人	10人	9人	1人

地域： 白州（参加者10人）太字はワーク2の結果、細字はワーク1で出た主な意見を加筆したもの

	①垂直統合		②水平統合
考え方	垂直統合	垂直+水平	2校・1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・既存資源である小規模校を活かし、他市町村にない良さのある学校教育を展開する ・合同部活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・武川と小学校を含めて統合する ・両地域の真ん中あたりに建てるのがよいのでは ・地域性を残しつつ、ある程度の規模を維持する 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで統合するか、納得できる立地にする事 ※統合パターンは様々考えられる。長坂+高根+小淵沢と、白州+武川+明野+須玉（+長坂の一部）など。 ・地域間の通学利便性の不公平感をできるだけ抑制すること／降雪時の移動も考慮する ・コミュニティスクール等で社会教育の機会をつくり、地域との関係を維持 ・通学時間が長くなることが心配 ・地域から学校が離れることを懸念／移住者が減る、韮崎や甲府に通うケースも出てくるのでは ・マンモス校になると活躍の場が減る
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は減っていくので問題の先送りにならない ・ICTでは人間関係が培われない 		
優先順位	2位	2位	1位
納得できる	2人	1人	5人
納得できない	3人	3人	3人
わからない	5人	6人	2人

地域： 武川（参加者12人）

太字はワーク2の結果、細字はワーク1で出た主な意見を加筆したもの

	①垂直統合		②水平統合		
考え方	垂直統合	垂直+水平	3～4校	2校	1校
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域色（文化・歴史・ふれあい）を残した教育を維持 ・小さい子も通いやすい環境を維持 		<ul style="list-style-type: none"> ・白州との統合により、20号線上に中学校を残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域に小学校を残すことが大切である ・成長に伴い子どもの可能性を広げられる学習環境を用意／子どもの心を育む熱意ある教育（ソフト）を実現すること 	
懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTは万能ではない（人間関係の固定化の問題は解消されない） ・武川小中を統合しても少人数の問題は解消できない 		<ul style="list-style-type: none"> ・白州・武川のみでは複数クラスにならない 	<ul style="list-style-type: none"> ・近い場所に統合されることが理想 ※送迎を考えると須玉エリアならよいが長坂エリアは厳しい ・スクールバスの確保 ※特に下校時 距離・時間長くなり過ぎないように配慮する ・地域とのつながりを最低限保てる配慮（吸収合併にならないよう、新校名、制服など） ・低学年の長距離通学は不安 ・休日の子ども同士の交流がしにくくなるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い機能をもった新校舎の設置 ・1校では選択制がなくなる
優先順位	3位	—	2位	1位	3位
納得できる	1人	—	3人	8人	1人
納得できない	7人	—	1人	1人	6人
わからない	4人	—	8人	3人	5人

地域から小学校が失われてしまうため不可↓
※現状維持に対する意見もあり

自主的に実施された武川小PTAアンケートでは垂直統合を押し意見も一定数あるため選択肢としては残す↓